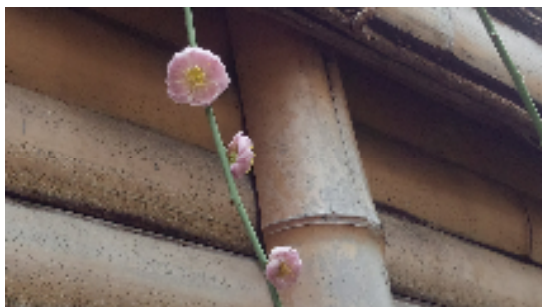


専念寺通信

3月号 (NO.16) <http://sennenji.s296.xrea.com/>



雪の多い寒い冬がようやく終わろうとしています。日本各地で大雪の被害がたくさん出ました。専念寺も本堂、前庭、中庭とすっかり雪に覆われました。毎朝、新住職が雪かきを致しました。皆さまのご近所では雪

の被害はありませんでしたか。道がすべりやすく外出も大変でした。

★春の彼岸

3月18日から24日までが春の彼岸です。春分の日、21日は、太陽が東からのぼり真西にしずむことから西方十万億浄土にある極楽浄土を思い描き、安楽国への往生を祈願するようになったのです。また、春の彼岸は、お中日（春分の日）を境にして、夜より昼の時間が長くなり、季節の変わっていく時期にあたり、秋の彼岸は同じようにお中日（秋分の日）を境にしてこちらは夜の時間が昼より長くなって行く、冬へと向かっていく時期に当たります。この季節の仏教行事のなりたちには、日本の農耕文化と密接な関係があったようです。

★新住職紹介

この度21世住職・守中高明が健康上の理由から職を退きました。書面にてすべての檀家さまにご案内させて頂きましたが、新住職は小沼久志（おぬまひさし）と申します。4年ほど前から法要を致しておりましたので顔をご存じの檀家さまもいらっしゃるかと存じます。小沼久志の妻は旧姓守中はるなと申します。住職夫妻の娘婿がこの寺を継いだこととなります。

★新住職のあいさつ

この度、歴史ある専念寺の22世住職を拝命いたしました、小沼久志と申します。

私は、大本山・知恩寺、大本山・光明寺、大本山・増上寺での2年間の修行を経て、平成23年12月27日、浄土宗僧侶となりました。以来、先代の指導のもとで法務経験を積み、平成26年1月15日を持ちまして当山の住職に就任いたしました。

まだまだ若輩者ではございますが、これからも専念寺のため、何よりも檀信徒みなさまのために研鑽を重ね、一生懸命務めて参る所存でございます。至らぬ点多々あるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻をいただければ幸いです。何卒、宜しくお願い申し上げます。

合掌

春の彼岸には、新住職・娘夫婦が大玄関にて皆さまをお迎え致します。大黒も顔を出させて頂きます。皆さまのお越しをお待ちいたしております。

平成26年3月1日 大黒



※新しいFAX番号になりました。 03-6205-5860 です。